

# ふれあいひろば

松川町社会福祉協議会 TEL 0265-36-3778 編集・発行 ボランティア連絡会 編集部

\*ボランティアだよりは皆様からご協力いただいた共同募金配分金で発行しています。

## 福祉を考える集会は チャンネル・ユーでの放映で



コロナ禍、県内や飯田下伊那の感染数値を見ながら、集会に参加して下さる方や、お年寄りや子どもと係わる仕事をしているスタッフの事などを考慮して、本年も福祉を考える集会はチャンネルユーでの放映と決まりました。

今回は、新しい日常のはじまり「やっぱりみんなに会いたいなあ!話したいなあ!」をテーマに、コロナ禍でも工夫して、人とつながる場所づくりをされている清北サロンといちごサロン、そして子ども真ん中プロジェクトの3者による公開討論会の様子を報告します。

初回放映は3月22日の夕方6時からの予定で、DVDにして小グループでの視聴もできるようにしたり、フェイスブックやYouTubeに掲載したりする予定です。ご覧になり感想をお寄せ下さるとありがたいです。



清北サロン

いちごサロン

子ども真ん中プロジェクト



## こども福祉教室 あいむ ワークショップ交流会

1月21日(土)、こども福祉教室あいむでワークショップ交流会を行いました。今回はあいむの生徒さんに加え、障がいのある方々にも来ていただき、一

緒に木を使ったワークショップに挑戦しました。「どうやってやるの?分からないよ」という声も聞こえてきましたが、お隣に座った人同士で教え合いながら、オリジナルの作品を作り上げていました。生徒さんからは、「難しかったけど楽しかった」「障がいがあっても気にならなかった」などの感想がありました。

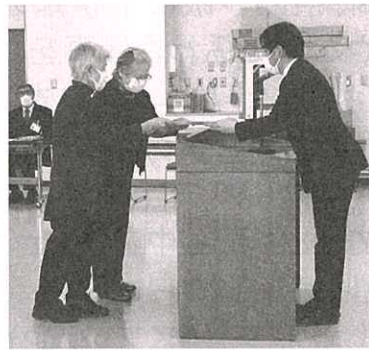




# 町長表彰を受けました

## 地域で食材を循環させる会

コロナ禍で始まった地域で食材を循環させる会は3年目を迎えました。毎月多くの皆様方から寄せられた食材とお米を該当の方々にお渡ししてきました。昨年の12月で28回目を終了する事が出来ました。いつもお心をお寄せ下さり、沢山のお米・食材が届きます。個人・商店・スーパー・農協・製菓会社・企業・ロータリークラブ等数えきれない様々な方々のおかげで活動が継続出来ております。この活動にこの程「町長表彰」をとのお話を頂き昨年の12月21日に授賞式が行われました。お米・食材・お菓子などをお寄せいただく皆様の代理として受け取って参りました事をご報告致します。この活動は始めて間もなく、私たちにこんな意識を作りました。私達はたまたま食材を提供して下さる数えきれない方々の代理として、お渡しする役割を担っているに過ぎないという事です。



お渡しする品物が無いことにはこの活動は成り立ちません。

最近こんなことがありました。お渡しの当日にたまたま通りかかって自宅にリターンし、それは沢山の果物と野菜を届けて下さった方があります。野辺山高原に大学時代の友人がいる。毎年トラックで高原野菜が届く、その白菜を沢山に頂きました。思いがけなく本場の高原野菜をお渡しすることが出来ました。

又、町内の工場で集めた食材を本社に届けていた企業が何とか地元でお渡しできないかと、社協に尋ねて下さり地元での還元が実現



しました。このように3年目となって活動は地域に確実に浸透していることを感じております。活動の広がり地域の中で自分に出来る事をと考える人たちの広がりに他なりません。其のことが根付いてきた。町長表彰は其の事実に光を当てて下さったと考えております。

## ボランティアだより 「ふれあいひろば」 編集委員会 ボランティア募集

隔月での活動ですので、負担なく参加していただけます。  
お気軽に社協【☎:36-3778】までお問い合わせください。  
活動内容:①2ヶ月に1回の定例会への出席(忙しい月はお休みしても大丈夫です♪)

②記事の内容によっては原稿の作成をお願いします。(文章に自信がなくてもOKです!)

## ホーイ元気?

### うれしいお便り



2年生の孫からハガキが届きました。何度も書き直した跡がうかがえる紙面には「ばあば、いつも美味しいご飯を作ってくれてありがとう」と書かれています。その横には色鉛筆で、おでんや、こんにやくの煮物、黒豆の絵が、ていねいに書いてありました。「あの子はこういうものが好きでよく食べてくれるなあ」と思いつつ、いながら、ちよとうれしくなりました。今はストープの上でコトコト豆を煮ています。豆が煮えるのを待ちながら孫の喜ぶ顔を想い浮かべているところです。

北原 紀子

